

やすらぎ短信

令和元年
11月号

大嘗祭(だいじょうさい)

来る十一月十四日・十五日、皇居で天皇陛下の御即位に伴う大嘗祭が行われます。この大嘗祭は、天皇陛下の御即位後初めて行われる新嘗祭(いなめさい)のことをいいます。新嘗祭とは、毎年秋に新穀を天皇陛下が天照大御神をはじめとする天地の神々に捧げ、御親らもこれを食され、国家の安寧を祈念される重要な祭儀で、今から一四〇〇年以上も前から続いております。皇位継承の儀式となる大嘗祭では、特別に造営された悠紀殿(ゆきでん)・主基殿(すきでん)を中心とした大嘗宮(だいじょうきゅう)において斎行されます。天皇御一代に一度だけ斎行される最も重要な祭儀といえます。



七五三のしゅつぷ

七五三の歳は、子どもの成長の節目の年といわれ、今後も健康に成長できますように神社でご祈願致します。

●七五三の歳の由来について

・三歳(男子・女子)

髪置(かみおき)の儀式。

頭髪を伸ばしはじめる。

・五歳(男子)

袴着(はかまぎ)の儀式。

初めて袴を着用する。

・七歳(女子)

帯解(おびとき)の儀式。

着物の帯を使いはじめ。

●千歳飴の意味は？

千歳飴は、紅白の細く長い飴で、飴の袋も「鶴亀」や「松竹梅」などの絵柄になっております。「健康」と「長寿」への願いが込められた縁起物として七五三参りに授与されるようになりました。



七五三参りの「案内

令和元年の該当者(数え年)

男の子 平成二十九年生 三歳

平成二十七年生 五歳

女の子 平成二十九年生 三歳

平成二十五年生 七歳

七五三参りの日時について

十一月九日(土) 午前十時

十一月十日(日) 午前十時

十一月十五日(金) 午前十時

●この日以外をご希望の場合は、ご予約にてご奉仕致します。

●満年齢でも受け付けております。

●玉串料三千元よりお気持ち

(電話) 〇一五―五七六一―四四八)

新嘗祭並びに収穫勤労感謝祭

来る十一月二十三日午後六時より、新嘗祭並びに収穫勤労感謝祭を斎行致します。各産業関係者が一同に参集し、地元で収穫された様々な食材を町内各二十四社の神々にお供えし、収穫感謝の祈りを捧げます。

宮司の「筆」

「世界最古の王朝」

去る十月二十二日、皇居・宮殿において「即位礼正殿の儀」が行われ、天皇陛下が高御座に立御され、「おことば」を述べられて即位を国内外に宣明遊ばされた。当日、東京は台風の影響で朝から雨模様であったが、儀式の直前に雨が止み、虹まで架かったのである。その映像を拝見し、慶祝と感謝の想いで胸がいっぱいになった。天皇家は、神武天皇以来、一二代代続く「世界最古の王朝」であり、世界史から見ても一つの王朝が変わることなく、今日まで続いていることは奇跡といえる。そして、その血統は「男系」により脈々と継承されてきた。世界の人々は、天皇を「キング (King・王)」よりも格上とされる「エンペラー (Emperor・皇帝)」と呼んでいる。どんな時代でも、ひたすら国民の安寧を祈り続ける天皇というご存在に只々感謝である。新しい御代と皇室の弥栄をご祈念申し上げます。

怪談「耳なし芳一」

「ひとり語り」を鑑賞

去る十月十六日、小泉八雲の怪談「耳なし芳一」の「ひとり語り」の公演（うらほろ和ごころ体験塾主催）が浦幌神社社務所で開催されました。「ひとり語り」の公演は、昨年五月にも開催しており、植田研一様の「日本神話」が大変好評で、再度当社へお招きし開催する運びとなりました。今回は、怪談に更に臨場感を出すため、琵琶の演奏（黒田拓様）と舞（西谷舞様）を交えた特別公演として演出して頂きました。子どもから年配の方まで約六十名が参加し、幻想的な琵琶と舞と怪談の世界を鑑賞致しました。



出演者

左から西谷舞様、植田研一様、黒田拓様

祭具等修理奉仕

この度、当社の祭具等の修理をご奉仕頂きました。

宏昌鉄工場様より

のぼり杭の修理をご奉仕頂きました。

道東ラーチ企業組合様より

お守りの収納箱・新嘗祭祭具の修理をご奉仕頂きました。

この場をお借りして感謝申し上げます。

浦幌神社行事予定

- 十一月一日 月次祭
- 十一月九日 七五三参り
- 十一月十日 七五三参り
- 十一月十四日 大嘗祭当日祭
- 十一月十五日 月次祭
- 十一月十五日 七五三参り
- 十一月十七日 鳥獣慰霊祭
- 十一月二十三日 新嘗祭並びに
収穫勤労感謝祭

発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一

電話 〇一五・五七六・二四四八